



瑞山会総会開催御案内

会員各位様

瑞山会会長 前田勝昭

会員の皆様にはお元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

さて瑞山会会則により、平成13年度総会及び代議員会を下記のとおり開催いたします。ご多用中とは存じますが多数の会員及びご家族の皆様のご参加をお待ちいたしております。

(今回は特別講演会を企画しました。ぜひご参加下さい。)

記

日	時	平成13年8月25日(土)
場	所	名鉄グランドホテル(名鉄メルサ上) 中村区名駅1-2-4(Tel052-582-2211)
受	付	午後3時30分～
総会兼代議員会		午後4時～ (議題 会計報告、活動報告、その他)
特別講演会	演題	アラスカ最北端の街バロー
	副題	食生活と健康
	演者	名古屋市立大学名誉教授 青山光子氏
懇親会		午後5時～
会費		3,000円(家族1名につき2,000円)

お申し込み 同封の葉書に郵便切手(50円)を貼って8月10日(金)までに投函してください。

連絡先 瑞山会庶務部長 八木得三(5期生)

☎・FAX 052-704-5061

平成12年度卒業式及び平成13年度入学式が執り行われる

平成12年度の卒業式が、3月23日(金)白鳥センチュリーホールにて行われました。森下愉華さんが代表として卒業証書を受領し、私達経済学部生は学び舎を後にしました。その後、ヒルトンホテルにて謝恩会が開催されました。成績優秀者に送られる瑞山会賞は次の方々を受賞され、謝恩会の中で瑞山会会長前田勝昭氏より表彰がなされました。

石川 雄平、松葉 里美、森下 愉華、安岡 匡也
安田 好宏(五十音順、敬称略)

(平成12年度卒業生 北村 聡)



平成13年度経済学部入学式より 「新入生への言葉」

経済学部長 國村 道雄

21世紀最初の新入生諸君、入学おめでとう。今日から、諸君は、名古屋市立大学の学生です。経済学部の教職員一同は、諸君を心から歓迎いたします。諸君は、長い受験生活から解放され、情報化、グローバル化で急速に変化する21世紀の今、力強く羽ばたこうとしています。わたくしども経済学部の教職員は、諸君がこの変化する社会に興味持ち、積極的に社会に関わりをもってほしいと強く願っています。

21世紀に入り大きく変化する日本社会は、数々の課題に直面しています。たとえば、金融システムの安定化では、4つのメガバンクが誕生しましたが、不良債権処理では課題が残されています。愛知万博の開催や中部国際空港の開港では、環境保全と開発の調和の難しさがあらためて浮き彫りになりました。経済学や経営学は、これら問題の解決にむけて挑戦し、人々の暮らしを豊かにすることを目指す学問であるといえます。わたしたち経済学部は、高い研究能力に裏打ちされた経済学と経営学の専門家からなる頭脳集団であり、平均年齢が45才というきわめて若い教授陣がキャンパスに新鮮な刺激を与えています。経済学部には現代の国際・地域問題を研究しています。各自がその専門分野から社会の諸問題に果敢に挑戦し、研究成果を公開し社会に還元しています。経済学部は経済学系と経営学系の両分野にわたって幅広い教育を行っています。若々しい教授陣は、毎年、教育方法に工夫を凝らし、情熱をもって教育にあたっています。その結果、教育を通じて学生諸君と教員との交流はきわめて活発です。また、1つのゼミナールが1つのゼミ教室を持ち、先輩・後輩のつながりを大切にした少人数教育が行われています。ゼミナールによる少人数教育は諸君が学問を通じて人間として成長する場を提供しています。ゼミ室と情報処理教室にはインターネットを装備し、実践的な情報処理教育にも力をいれています。

わたくしども経済学部のスタッフ一同と手を携え、情報化とグローバル化の21世紀へ力強く船出しましょう。経済学、経営学の基礎専門科目は、1年生の春から履修できます。新鮮な驚きを教室で体験してください。経済や経営の現実から学ぶ喜びを、わたしたちと一緒に分かち合しましょう。

最後に、諸君が、キャンパスで共に学び共に遊ぶなかで、生涯の友情が築かれる友人を数多く作られることを願っています。



初代副学長に就任して 「経済学部教授 内藤 能房」

本年度新設された副学長の職を5月1日より兼務している。6学部1センター、6研究科を要する小規模ながら総合大学となった名市大にとって副学長的なものが必要であると主張していた当人にその任が回ってきたとは皮肉な巡り合わせである。1996年から2年間経済学部長、99年から本年3月末まで学生部長を兼務していたという「履歴」というか「経路(パス)」のなせる業かもしれない。今回の副学長就任は経済学で言う「履歴効果(ヒステリシス)」、あるいは「経路依存性」なるものを実感する経験であった。

ところで、副学長は、学長を補佐するとともに学部横断的な話題の調整、教養教育、国際交流等の課題に取り組むことを職務とし、学内の諸活動の活性化に寄与することが期待されているが、自己の研究、教育等を抱えながら、どこまでやれるのか正直なところ不安である。とはいえ、今や大学間競争は激しい時代に突入しており、公立大学と言えども安閑としてはいられない。「やるきゃないのである。」微力ながら力を尽くす所存である。

経済学部へ赴任してきて、はやほぼ4半世紀がたち、名市大への愛着はおそらく卒業生と変わらないかそれ以上であるかもしれない。瑞山会OB、OG諸氏の母校に対する暖かい声援とご支援を切にお願いする次第である。

◆◆◆学部人事異動◆◆◆

- | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ●平成13年 5月 1日 兼任
副学長 内藤 能房 ●平成13年 4月 1日 兼任
総合情報センター長 神山 真一 ●平成13年 3月31日 退職
教授 (附属経済研究所) 徳永 澄憲
助手 (経済政策Ⅱ) 櫻川 幸恵 | <ul style="list-style-type: none"> ●平成13年 4月 1日 採用
教授 (附属経済研究所) 大野 幸一
講師 (経済理論) 松原 聖
助手 (経済政策Ⅱ) 古川 章好
助手 (経営・会計学) 江里口睦美 ●平成13年 4月 1日 異動
<昇格> 助教授 (経済理論) 芦谷 政浩 (講師より)
<昇格> 助教授 (経営・会計学) 出口 将人 (講師より) |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

▶▶▶▶▶平成12年度卒業生の就職状況◀◀◀◀◀

平成13年 3月卒業の後輩諸君の進路状況は以下の表のようになりました。この会報が皆さんのお手元に届く頃には、現4年生の就職先もほぼ決まっているものと予想されますが、今年以上のがんばりを期待したいものです。

平成12年度卒業学生の就職等状況一覧

就職等進路先	男	女	計	就職等進路先	男	女	計	就職等進路先	男	女	計	就職等進路先	男	女	計
建設業	3	3	6	卸売業・小売業	7	6	13	保険	5	4	9	テスク		1	1
積水ハウス	2	2	4	卸売業	4	5	9	朝日生命保険	1	1	2	東急ホテル		1	1
ミサワテクノ	1	1	2	伊勢久	1	1	2	富国生命保険	1	1	2	東京コンピュータサービス	2		2
製造業	10	9	19	内田洋行	1	1	2	三井生命保険	1	1	2	東洋情報システム	1	1	2
食料品・たばこ	2	2	4	信友	1	1	2	安田生命保険	1	1	2	日本オフィスシステム	1	1	2
サントリー	1	1	2	瀧定	1	1	2	住友生命保険	1	1	2	日本物流コンサルタンツ	1	1	2
中日本水糖	1	1	2	中北薬品	1	1	2	住友海上火災保険	1	1	2	バンテクノ	1	1	2
出版印刷業		1	1	日建産業	1	1	2	東京海上火災保険	1	1	2	東日本建設業保証	1	1	2
プロトクリエイティブ	1	1	2	丸美産業	1	1	2	富士火災保険	1	1	2	日立システムアンドサービス	2	2	4
化学工業	1	1	2	ヤマサ総業	1	1	2	三井海上火災保険	1	1	2	富士通中部システムズ	1	1	2
キッセイ薬品工業	1	1	2	リネックスサンシン	1	1	2	金融・保険業その他	2	1	3	ベルシステム24	1	1	2
金属製品	1	1	2	小売業	3	1	4	アコム	1	1	2	三菱電機エンジニアリング	1	1	2
イソガイ		1	1	グッドウィル	1	1	2	キャスコ	1	1	2	ユニバーサルスタジオジャパン		1	1
進和	1	1	2	名古屋三越	1	1	2	セントラルオートリース	1	1	2	ワシントンホテル	1	1	2
一般機械器具	1	1	2	ブロンコビリー	1	1	2	不動産業	1	1	2	公務	10	5	15
マキタ	1	1	2	松坂屋	1	1	2	住友不動産	1	1	2	国家事務	1	1	2
電気機械器具	2	2	4	金融保険業	30	25	55	大京	1	1	2	社会保険事務所	1	1	2
三協精機製作所	1	1	2	銀行・信託業	19	9	28	サービス業	24	15	39	郵政事務		1	1
第一エンジニアリング	1	1	2	愛知銀行	1	1	2	非営利団体	3	1	4	地方事務	9	4	13
輸送用機械	2	5	7	大垣共立銀行	2	2	4	東海労働金庫	1	1	2	愛知県	1	1	2
アイシンAW		1	1	シティバンクNA	1	1	2	愛知県信用保証協会	1	1	2	安城市	1	1	2
アイシンAW精密		1	1	十六銀行	3	1	4	全労災	1	1	2	一宮市		1	1
アイシン精機		2	2	中京銀行	1	1	2	医療保健		4	4	桑名市		1	1
今仙電機製作所	1	1	2	東海銀行	2	3	5	G&Oレディクリニック	1	1	2	江南市		1	1
豊田合成	1	1	2	名古屋銀行	1	1	2	刈谷総合病院	1	1	2	豊橋市		1	1
フタバ産業		1	1	岡崎信用金庫	1	1	2	小林記念病院	1	1	2	名古屋市	4	1	5
精密機械器具	1	1	2	岐阜信用金庫	3	3	6	名古屋第一赤病院	1	1	2	熊野川町		1	1
錦産業	1	1	2	桑名信用金庫	1	1	2	サービス業その他	21	10	31	就職者計	92	65	157
興和		1	1	瀬戸信用金庫	1	1	2	IEグループ	1	1	2	企業等への就職	82	60	142
電気・ガス・水道	1	1	2	東濃信用金庫	1	1	2	IXナレッジ		1	1	公務員	10	5	15
TOKAI	1	1	2	西尾信用金庫	1	1	2	MHIエアロスペースシステムズ	1	1	2	計	92	65	157
中部ガス		1	1	碧海信用金庫	2	2	4	SRA	1	1	2	就職をしない者	32	17	49
運輸・通信	6	3	9	証券・商品取引	4	11	15	インテリジェンス	1	1	2	大学院進学予定	9	4	13
運輸	4	2	6	岡三証券	1	1	2	オービック	2	2	4	資格試験準備	5	3	8
Sライン岐阜		1	1	大和証券グループ本社	1	1	2	オービックOA	1	1	2	専門学校進学予定	7	2	9
高末	1	1	2	つばき証券	1	1	2	鎌田税理士事務所	1	1	2	自 営	1	1	2
中京倉庫	2	2	4	東海東京証券	4	3	7	共立コンピュータサービス	1	1	2	その他	10	8	18
名港海運	1	1	2	日興証券	3	3	6	シーイーシー	1	1	2	卒業者合計	124	82	206
郵船航空サービス	1	1	2	野村証券	1	1	2	スタッフサービス	1	1	2	平成13年度4年生	143	77	220
通信	2	1	3	豊証券	1	1	2	住商情報システム	1	1	2				
J-PHONE東海	1	1	2	グローバル	2	2	4	ゼンショー	1	1	2				
NTTドコモ東海	1	1	2					セントラルシステムズ	1	1	2				

新しい時代を創る人と人とをつなぐ

ネオ・キャリア・ネットワーク Vol.10

鈴木 正さん [第19期生・星野ゼミ・39歳] 有限会社 青空 代表取締役

名古屋港・国際展示場で、テレビ愛知主催の「マンモス・フリーマーケット」が開催されている。朝、9時。メインゲートには、すでに若いカップルや家族連れの長蛇の列。彼らは、売る側であったり、買う側であったりする「個人」である。その個人を中心にすえて、ビジネスを展開する鈴木正さんは、有限会社青空代表取締役の肩書きを持つ。ゲートの一角に、受付机を用意すると、次々と若者たちが集まってきて、各々のダンス・コンテストのための自分の音楽テープやMDを、彼に渡しに行く。すべての受付が終わると、彼は、気ぜわしくメイン会場に移動、イベントステージの正面にビデオカメラを設置するなり、裏方に消えた。

今回、彼がコーディネートするのは、ストリート・ダンス・コンテスト『DANCE MAX vol.6 in マンモスフリマ』。派手なウェアの20代の男たちに囲まれて、今日の打ち合わせに入る。彼らは、名古屋の音楽、ダンスシーンで活躍し多くの人脈を持つ、知る人ぞ知る重鎮で、今回の審査員団である。やがて、ステージでは、彼のパートナーで、このイベントをプロデュースしている人気パーソナリティー黒岩唯一さん（FM愛知で活躍中）の司会進行で、ダンスがスタートした。二人協力してこのイベントの企画、スポンサー発掘、出場ダンスグループの募集、イベント進行、記録など、淡々とこなしていく。「これだけの個人グループを、さっと組織して、お客さんを集客できるクオリティーのイベントに仕立てる会社は、少ないと思いますよ」と黒岩さんは答える。鈴木さんは更に、「ニーズのイベント化・才能の組織化・個人のメディア化。これこそが、青空のビジネス・モデルです」と説明してくれた。2時間のイベントが終わると、『DANCE MAX』に参加した10代の若い連中が二人に旧知の間柄よろしく声をかけて帰っていくのが印象的だ。

黒岩さんは、彼のことを、サッカーの「ボランチ」だと言う。ボランチは、ディフェンスラインのすぐ前にいて攻守の要として、試合をコントロールするMFの選手のこと。守備と同じような位置だが、役割はより攻撃的で、ほとんどの攻撃の基点となり、落ち着いたプレーと力強いプレー、そして両サイドまたは前線へのパスによって、ゲームのコントロール、リズムを変える役割を担っている。また守りではディフェンスラインの組織作りの助けを行い、各プレーヤーへ指示する役割も果たす、大変重要なポジションなのだ。

「21世紀は、個人が楽しくする時代、個人が楽しむ時代。」と言うそんな彼は、僕の元同級生でもある。

(編集部：湯浅伸庸)

編集部 [□] この「ネオ・キャリア・ネットワーク」も、6年目に突入。10回目にして、やっと僕の同級生にたどりつきました。彼は今や、アーティストのリリースから、映像やイベントのプロデュースまでこなす有限会社の社長。こうして同級生から、起業家が出るのも、本当にうれしいものです。自由と自己責任の時代を反映してますね。

鈴木 [●] 確かに、1981年に入った時は同級生だったね。卒業は1年ずれました。それにしても、人類学で、教養ダブったのは、僕くらいじゃないかな。

□あのトナカイに乗っている狩猟民族、エベンキ人のお話ですね。覚えてますよ。教科書のフレーズなら、何を書いても通りそうなテストだったのに。

●まさに油断だった。語学の必須は一発で通したのにね。それにしても、うちのクラスは1/4が留年だったんだよ。愉快的やつら程ね。

□それは知らなかったです。『Pineapple Company』なんていう学級新聞まで出してクラスがまとまっていたのにね。大滝詠一の『ALONG VACATION』や、佐野元春の『SOMEDAY』をよく聞いてましたね。ちなみに、当時、好きだった本は？

●村上春樹の『羊を巡る冒険』かな。

□鈴木さんは、前回取材した大和田獏さんが旗揚げした演劇部『劇団のろ』に81年から86年まで所属していましたね。

●はい、生協の食堂で、厨房に入ってアルバイトしながら、役者から、裏方、脚本までやりましたよ。淑徳大学に客演で行ったりもね。「劇団のろ」も、市大の学生だけでなく、他大学から来てましたよ。

□そうでしたか。鈴木さんは、「芝居＝生活」の5年間だったんですね。

●はい。でも、本当に面白くなったのは4年目くらいかな。台本や演出をするようになってから、俄然、面白くなってきた。いろいろと他の作品からサンプリングしたりね。いろいろな本や、戯曲も読んだ。人間って、吸収する時期ってありますよ。何を見ても面白い時期。そういう状況だったね。東京の下北沢ばかり演劇を見に行きたし、第三エロチカや鴻上尚史の第三舞台が好きだった。つかこうへいの『熱海殺人事件』は台詞回し稽古でよく使ったね。その当時の僕が見ていた役者さんたちは、皆んな有名になったよね。アンダーグラウンドからテレビの顔になった。

自分の芝居のピークは、卒業の年。年3回くらい定期公演をして、プラス大学の近所の喫茶店『BUN』のマスターと『三日月症候群』という劇団に参加。他大学の客演含めると、年間6本の記録！

□それで就職活動はどうしたんです？

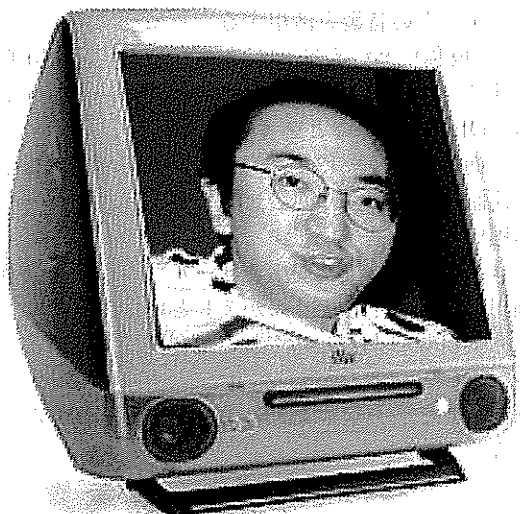
●僕は、星野ゼミで、4年時点では、先生が海外に出られて、ゼミも、卒論すらもなかった。活動をはじめたのは、4年生の8月過ぎかな。「金融自由化」「通信自由化」等、景気はよかったですね。証券会社3社から内定をもらって、太平洋証券に入りました。岐阜支店の営業を2年担当して、まさに「お金を集めるだけの仕事」が嫌になり、辞めました。

□辞めるのには勇気がいったのでは？次は決まっていたか。

●いや。退社後、会社が上場したので、手元のお金でしばらく遊んで、いよいよお金もなくなってきたし、不安にもなってきた。そろそろ働きたいなと思い、「映像メディアプロダクション」というテレビ番組の制作会社に入社しました。かまやつひろしの『ムッシュルーム・マガジン』という深夜のライブ番組を担当しました。今は、人件費高いから、こういう番組はできないけどね。

□いよいよ、今の仕事につながるテレビ畑ですね。

●6年間、本当に安い給料で、死ぬほど働きました。週3本のレギュラー番組のアシスタント・ディレクターから始まり、演出、構成作家、編集、音効、何から何までやった。ただ、すべてが未体験だったので「経験する機会が得られる」だけでもありがたいと思った。まさに、「現場で覚えるノウハウ」は得がたいもの。生放送が多かったので、そのリアル感覚は、今も、イベント運営などに生きていますね。番組の企画、立ち上げ、スポンサー獲得から、制作まで一貫してやる会社だったので、この世界のしくみや方法がよくわかりました。今につながるテレビ局の人達との人脈や、仕事の信頼関係もできました。でも、バブル崩壊とともに会社経営が悪化して、そんな不安な時期に、ある番組の司会をやっていたタレントさんに「事務所を独立するので、いっしょにやらないか」と誘われ、「少年ボーイズ」という会社を創りました。ここでは構成作家として参加する一方、マネジメントや経理から、多くの外部スタッフに仕事を外注することも覚えました。今思い返すと「フリーランスな豊かな個人の才能が散在している。そこを繋いで仕事を組み立てる」という「仕事の型」を学んだ時期だったのかな。



結局、今の社員、パートナーは、すべて、この時に出会った仲間です。転職の時には、特に仕事の信頼関係から生まれる縁に助けられましたね。95年に、紹介で「中京テレビ映像企画」に入りました。作品や仕事リストの持込みで、即戦力として採用。当時は、面接をしてくれた社長がしきりにマルチメディアと言っていた。それで、マッキントッシュのLC630に30万円近くしたマクロメディア・ディレクターというマルチメディア編集ソフトをのせて、あの当時のマルチメディア開発に関わったんです。また、ネットスケープ以前、ブラウザがモザイクの頃にインターネットにも触れた。

□95年にコンピューターを使い始めたのは遅いと思いますが、同時にインターネットを導入したのは、プロバイダー・ブームの前だから早かったですね。

●それで、触った瞬間、個人放送局の時代がくると直感したね。今でこそ、自社のホームページから音楽や映像を配信しているけど、ハードのスペックが急速に上がって一方でコストが劇的に下がった。だから、「個人の発信」を支援していくビジネスを展開したい僕にとっては、今は最高の環境です。思いついたら「自分で」「すぐに」やれちゃうんですからね。

□会社のビジネス内容はどうなっていますか？そういえばインターネットで青空のホームページ見ればいいですよ。とは言っても簡単に紹介してくださいよ。

●青空は、一言で言うと、ファッション、ミュージック、ビデオ、マルチメディア、イベントを企画制作販売する会社です。例えば、ホーマンというグラフィック・デザイナーと、『LESS THAN HUMAN』というデザイナーズ・ブランドを創り、ファッション・ビジネスを展開しています。JR岐阜駅構内「匠工房」にショップ『LESS THAN HUMAN』をオープン。今年、『BRUTUS』のニューヨーク特集に出た、セレクトショップ『A-life』にも、コーナーを持ち、大好評です。ジャネット・ジャクソンのプロモーションビデオにもデザインした帽子が使われました。また彼は『Levi's Vintage Clothing Print Campaign-Fall 2000-』のキャンペーン・デザイナーとしても起用されました。ネット・ショッピングもできますよ。また音楽分野では、ロックバンドをプロデュース。CD制作から、ライブイベントの企画まで展開しています。最近では、前出の『DANCE MAX』というイベントを、連続開催しています。他にも、地方自治体、CBC、中京テレビなどのホームページの制作・運用や、企業のE-コマースのシステム創り、アミューズメント・スペースの開発・活性化など、多くの個人の才能を巻き込みながら、次々と事業を展開しています。

□今、ネットは旬ですものね。もうノリノリですね、「やりたいこと」を仕事にできて。

●人とお金と時間の不足さえなければ、言うことないんですけどね。つまり足りてても、足りなくなるまでどんどん先に進めてしまうんですよ。経営者って、そういうもんじゃないのかな。

□なるほど。「リスクをとる決断」という一線が、なかなか経営者でないと超えられないということですね。

●わかったでしょ？起業家とサラリーマンの違い。これ

が、今回の取材のテーマだったよね。

□わかったような気がします。ぜひ名市大の学生に「自由と自己責任」「リスクをとる」「したいことを仕事にする苦勞と喜び」という話、してほしいです。

●そうですね、借金に関して事業の借入金と個人の住宅ローンとのプレッシャーの違いや、自分が給料を取らずに、社員の給料をまず確保する苦勞と喜びなど、わかるかなあ。会社を起してつくづく思うのは、「人を使う」か「人に使われるか」の境界の厚さです。いろいろ仕事は変わったけど、条件、環境、仕事は違っても、以前の僕は「人に使われている」という点では同じだった。「人を使う」感覚は圧倒的に違う。責任やストレスのかかる場所も違う。これだけは経験しないとわからない。失敗は、全部自分に返ってくる。人のせいにできない。言い訳しようと思わなくなる。しても仕方ないからね。否応無くそういう環境に立たされるんですね。成功すれば、王様気分。失敗したら、ジェットコースターで駆け下りるような恐怖です。

□うーん、僕なんてダメだ。鈴木さん、すごい。受話器から感動のオーラが出てるよ。僕自身、サラリーマンと経営者の「間」を詰めたいと思ったのだけれど、難しいな。やはり、38歳ともなると、同級生にも差が出るわけで、この取材で改めて心に大汗かいてしまいました。

2001年5月5日

湯浅自宅 [名古屋・御器所] - 青空オフィス [名古屋・今池] インターネットと電話によるライブ中継。近いんだから、取材に行ったら? というお説もありましたけど・・・世の中便利になりました。

編集委員

湯浅伸庸 [18期]、清水綾子 [30期]、奥村光輝 [31期]

■有限会社青空ホームページ

<http://www.aozora.net/>

ネオキャリアについてのご意見、ご感想などを編集部までお寄せください。またこんなOBの方をインタビューしてほしいなど、ご推薦もよろしくお願ひします。

瑞山会会報編集部

■E-mail: atstique@rr.ij4u.or.jp

ECONOMICS REVIEW Vol.2

『さかえ先生のけいざいタイム』



三井栄 著
KTC中央出版
1,300円(税別)
ISBN4-87758-180-4

もし皆さんが「経済学部を卒業しているから新聞で話題になっている経済問題をわかりやすく説明してくださいよ。」と言われたらどうしますか?

「景気と減税の関係」「銀行の破綻とペイオフ」「赤字国債の増加」「公的年金の行き詰まり」「国内生産拠点の海外移転」等々、今の日本が抱える問題に対して、ここでは著者であるさかえ先生と主婦、照子さんとの会話形式でそれらの解説が項目別に簡潔にまとめられています。日常、ニュースなどでそれらの言葉を見聞きしたときに疑問を持ったりしたら、ちょっとページをめくってみると理解するスタートにもできます。

著者は経済学部23期卒業、現在岐阜大学地域科学部助教。専門は計量経済学。

本書が書店に無い場合は、

出版社注文専用フリーダイヤル (0120-160377) で入手できます。

瑞山会ニューズメール発行について

瑞山会ホームページ委員会

瑞山会では年間2回の会報を発行し、皆さんへ種々の情報をお伝えしております。開催行事の日程と発行をできるだけ速報性を持たせるようにしておりますが、中には開催数ヵ月前ということも時にみられます。そこで同窓会ホームページでは、速報力を生かし随時最新情報を掲載しております。ホームページ委員会ではさらにこのインターネットの特製を活用するために「瑞山ネットニュース」(仮称)というメールマガジンの発行を計画しております。内容は瑞山会行事などの告知、ゼミOB会の話、OBからの声などを考えています。

実現に向けて、平成13年に入ってから理事会に提案して現在協議中ですが、今回委員の皆さんへアンケート調査をお願いしたいと思います。

お聞きしたい内容は「瑞山会メールマガジンを発行したら利用しますか? しませんか?」という内容です。

現在の会員数の中でどれぐらいの利用が見込めるかを尋ねたいというのが趣旨です。

今回同封しました返信葉書の第4項に回答欄がありますので宜しくお願いいたします。

山崎川花見会開催



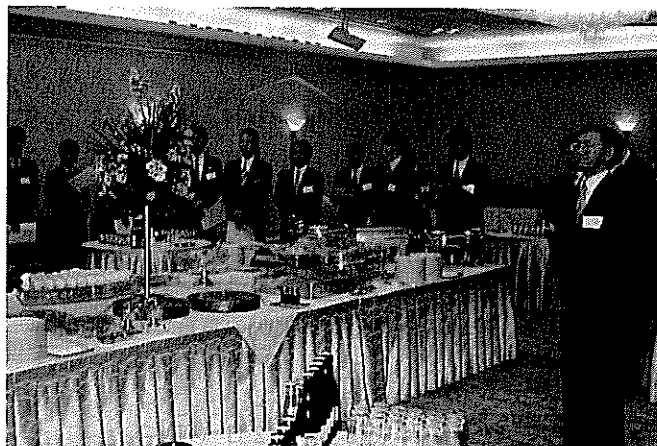
去る4月1日(日)、「山崎川花見と茶会」が経済、医学、薬学の同窓会合同で開催されました。毎年4月の第1日曜日と日程が決まっている為、今回は桜が咲くか心配でしたが穏やかな気候に恵まれ七分咲きとなりました。お昼前後から皆さんが薬友会館に集まり始め、お茶会でお抹茶を召し上がる方、喫茶室で談笑される方、グループで桜並木へ散策に出かけられる方など夕刻まで賑わいをみせていました。

(写真は桜並木をとおして薬学部校舎を望んでいます)

【瑞山会支部便り】

平成12年度瑞名会総会開催

平成12年11月17日(金)午後6時30分より、千種区ルブラ王山において、平成12年度瑞名会(瑞山会名古屋市役所支部)総会および懇親会が49名の参加により行われました。今年度は第1期の卒業生を出した、人文社会学部、芸術工学部から、同じ職場の仲間となった5名にも参加を頂きました。総会は、今年4月の組織統合によりできた住宅都市局が幹事となり、その中から長谷川二三夫氏が司会進行役を務め会が進められました。



まず、会長の市民経済局の近藤淑徳氏から開会の挨拶がなされ、続いて瑞山会会長の前田勝昭氏から来賓の挨拶を頂きました。その後新会員の紹介となり、今年度加入の経済学部卒業の7名と、人文社会および芸術工学部卒業の5名が壇上に進み、自己紹介、職場紹介、今後の豊富などをそれぞれ述べ会場の暖かい拍手を受けました。

今年度は役員改選に当るので、その選出について議事を行い、その結果役員全員の再任が承認されました。続いて懇親会に移り、副会長に再任された千種区役所の小笠原幸生氏の乾杯の音頭により始まりました。

なごやかな雰囲気先輩、後輩の和気あいの語らいが続くなか、ビンゴゲームが行われるなど、いつのまにか時間は過ぎ、来年度幹事となる総務局の恒川栄治氏の締めにより閉会となりました。

***** 新卒OBの声 *****

第34期 松尾裕次 (森田ゼミ 名古屋医師協同組合 名古屋臨床検査センター)

名古屋医師協同組合・名古屋臨床検査センターに入社して約3ヶ月が経ちました。弊社の事業内容は、臨床検査一般、食品衛生検査、日帰り人間ドックなどであり、私自身は現在、事業本部の総務部に配属され、営業用あるいは会議用書類の作成や検査等に関する問い合わせ電話の対応などをしております。また従業員が正社員・契約社員合わせて200名ほどであることや男性社員が少ないこともあり、大きな期待をかけられていると感じられ、やりがいのある職に就くことができたことに満足しています。

社会人となって学生時代に比べ大きく変わったことは仕事に関する責任感です。事務の仕事であっても一つのミスが患者様の人生を左右することもあるので、何度も確認しながら慎重に作業をするようになりました。

また社会人になると職場以外のつき合いが少なくなりがちなので、視野を広げるために同窓生の集いにもこれからは可能な限り参加しようと思いますので、皆さんもぜひ参加していろいろな話を聞かせて下さい。



テニス大会参加者の皆さんで記念撮影

5月3日には第12回公式テニスの会が開催されました。危ぶまれた天気も開始時間に向けてみるみる回復し、青空も見えてきました。佐藤幸一先生、東海林佳代氏組が優勝、準優勝は杉浦晴義氏（5期生）渡部範子組でした。教養部をリタイヤされた竹中先生も参加されましたが、残念ながら入賞を果たせませんでした。来年の再会を約束し散会となりました。来たる9月2日にはバーベキューパーティーを昨年に引き続き大学構内で行います。好評の三河一色のうなぎを用意しますのでぜひご家族、お友達をお誘いのうえお出かけください。詳しくは別掲記事をご参照ください。事業部にご意見、ご要望等がありましたら、お気軽にお寄せください。

（事業部長 逸見和宏 052-914-6221 E-mail: hem3@mvj.biglobe.ne.jp）

（事業部便り）

平成13年4月1日恒例の山崎川花見散策と茶会が行われました。今年は3月半ば頃から暖かい日が続き桜の開花が早くなりました。当日も好天と気温に恵まれ、午後には一挙に開花が進んでいました。何ととっても桜の名所の山崎川ですので、大勢の人出もあり、陽気な春の散策となりました。4月14日には第37回OBゴルフコンペが伊勢大鷲GCで行われました。直前のキャンセルが相次ぎ、幹事の林嘉明氏にはご迷惑をおかけしました。優勝は山下和男氏（5期生）、準優勝山西和宏氏（1期生）でした。次回開催は10月20日、多度CCの予定です。

〔バーベキューの集いご案内〕

経済、医学、薬学同窓会合同主催、「バーベキューの集い」を、今年も山の畑キャンパスで開催いたします。ご家族連れで楽しい午後のひとときを過ごしませんか。参加をご希望の方は、8月20日までに、お電話で下記連絡先までご予約いただくか、同封の葉書でお申し込みください。

—記—

日時 平成13年9月2日（日）
12時集合（雨天決行）
場所 名市大山の畑キャンパス
（生協北側空地）
参加費 1人 500円

連絡先 ☎052-872-5709
経済学部資料室倉地まで

名古屋市立大学シンボルマーク公募

名古屋市立大学の開学50周年を記念して、総合大学にふさわしいシンボルマークを募集します。OBの皆さんからの応募をお待ちしています。

- 応募対象者：学生、教職員、卒業生等本学関係者
- 応募期間：平成13年7月2日～同年8月31日
- シンボルマークの公表：平成13年10月下旬
- 応募先：学生部学生課
（電話052-853-8020）

詳しくは学生部学生課又は各学部等事務室までお尋ねください。

名古屋市立大学シンボルマーク制定委員会

名簿部よりお知らせです

瑞山会会員名簿第7号 平成13年12月発行予定（1部 4,000円）

本年12月に4年振りに同窓会名簿が発行されます。ぜひ振るってご購入ください。（あまり購入者が少ない場合は、今後発刊ができなくなる可能性があります。）

まだ新規購入予約をされていない方は下記へお電話をしてください。

（株）廣濟堂 TEL052-931-6916

なお、類似業者より、しばしば同様の名簿発行の案内があるようですが、瑞山会及び廣濟堂とはまったく関係がありませんのでご注意ください。